

# 平成29年度第2回草加市みんなでまちづくり会議

## 議 事 録

### 1 開催日時

平成29年7月26日（水）午後7時～午後9時10分

### 2 開催場所

草加市立中央公民館 第1・2講座室

### 3 出席者の氏名

(1) 登 録 員 13名

(2) 事 務 局 みんなでまちづくり課：山中課長、工藤課長補佐、木村主事、二見主事、福島主事  
市民活動センター：亀山所長、小柳主事、山口臨時職員

### 4 会議の議題

「今後のまちづくり会議におけるテーマの選定」

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴者数

4人

### 7 会議の内容

別紙議事録のとおり

### 8 議事録署名人

蓮沼清光様、酒井斉様

# 平成29年度第2回草加市みんなでまちづくり会議 議事録

【実施日時】 平成29年7月26日(水) 午後7時～午後9時10分

【実施場所】 草加市立中央公民館 第1・2講座室

【出席者】 まちづくり登録員：13名、傍聴者：4名

事務局：みんなでまちづくり課 山中課長、工藤課長補佐、木村主事、二見主事、福島主事  
市民活動センター 亀山所長、小柳主事、山口臨時職員

1. 開会

2. 議事

<議題> 「今後のまちづくり会議におけるテーマの選定」

3. 閉会

【議事内容】

-開会-	
【事務局】 (亀山所長)	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成29年度第2回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきます、市民活動センター所長の亀山です。よろしくお願いします。</p> <p>初めに、事務局のみんなでまちづくり課課長 山中よりご挨拶申し上げます。</p>
【事務局】 (山中課長)	<p>皆様こんばんは。みんなでまちづくり課課長の山中でございます。お忙しい時間帯にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日はテーマを決めるということで、第2回みんなでまちづくり会議を開催させていただきます。今後、決まったテーマに基づきまして、第3回目以降に話し合っていくということになりますので、色々ご意見をいただく中でテーマを考え、決めていただければと思っております。本日は傍聴の方も4名いらっしゃいますので、次回はまちづくり登録員に登録していただいて、会議に参加していただければと思っております。それでは、本日もよろしくお願いいたします。</p>
【事務局】 (亀山所長)	<p>それでは、議題に入る前に、この“みんなでまちづくり会議”の概要について説明させていただきます。</p> <p>本日、皆様にお集まりいただいているこの「草加市みんなでまちづくり会議」は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づき開催している会議です。この「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」は市の条例の中で最も基本となるものとして、『だれもが幸せなまち』をつくるため、市政の基本となる原則や方針を定めるものとして施行されました。この条例の特徴は、市民の提案権や発言の場などを保障し、市民の皆さんが直接まちづくりに参加できるところにあります。以上のような位置づけの会議となっております。</p> <p>それでは、皆様にお配りした資料の確認をしていきます。</p> <p>★配布資料★</p> <p>①会議の次第</p> <p>②資料1「テーマ一覧」</p>

	<p>③資料2「みんなでまちづくり会議 これまでの議題（テーマ）一覧」</p> <p>④資料3「平成29年度第1回草加市みんなでまちづくり会議 意見の整理」</p> <p>資料は皆様揃っていますでしょうか。不足している方は挙手にてお知らせください。</p> <p>なお、草加市みんなでまちづくり自治基本条例の条文につきましては、本日配布していませんが、必要な方は事務局までお申し付けください。</p> <p>次に、会議開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人を2名決定します。本日は、蓮沼清光様、酒井斉様をお願いしたいと思います。皆様、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《拍手》</p> <p>【事務局】 (亀山所長) ありがとうございます。それでは、議事録署名人といたしまして蓮沼様、酒井様よろしく お願いいたします。</p> <p>【登録員A】 私は登録員Aと申しますが、過日メールにてお送りした私の提案したいテーマが載っていないと思うのですが。</p> <p>【事務局】 (亀山所長) 失礼いたしました。事務局で作成した資料に漏れていました。本日は皆様に意見を出して いただくので事前に提出していただいたテーマ以外にも提案することは可能です。本日、テ ーマとして提案していただければと思います。</p> <p>【登録員A】 事前に提出したものと同じものを用意しているので、コピーしたものを、皆様に配布して いただきたいと思います。</p> <p>【事務局】 (亀山所長) かしこまりました。</p> <p>本日の議題につきましては、「今後のまちづくり会議におけるテーマの選定」ということ で決定しております。皆様にお配りしている資料1に話し合いたいテーマが事前に4つ出さ れております。このテーマに補足する形とするか、新たにテーマを選定する形でも構いま せん。本日の会議でテーマを決めて、次回以降の会議では各グループで話し合っただけ ばと思います。本日の会議の進行役ですが、前回の会議に引き続き、まちづくり登録員の青 柳様、浅古様をお願いすることが決まっております。本日、浅古様は欠席のため青柳様の進 行で進めてまいりたいと思います。それでは青柳様よろしく願いいたします。</p> <p>【進行役】 はい、まちづくり登録員の青柳です。このところ長く進行役を仰せつつかっている所で、そ ろそろ新しい方にも協力していただいて順番に回っていくシステムがあれば良いと思っ ているのですが、なかなかそうもいかず悩んでいるところです。どうぞ、進行にご協力をよろ しく願いいたします。浅古様につきましては事情によりどうしても都合がつかないとい うことで本日欠席となっております。</p> <p>今日の一番の課題は、会議の中でどのようなことを話し合っていくのかテーマを決めてい</p>
--	---

くことになっています。今のようなシステムで、まちづくり会議を進めるようになってから前回までに話し合ったテーマは資料2に書いてあります。「みんなでまちづくり会議の運用の充実について」としてみんなでまちづくり会議の進め方を平成25年度から平成26年度第2回目まで開催、草加のまちづくりの基本的な計画を一般の市民の方を募集して話し合った「未来まちづくり市民会議」とは別に、「次期草加市総合振興計画について」をみんなでまちづくり会議で第3回目に開催、第4回開催時に「みんなでまちづくり会議の進め方について」をまた行い、まちづくり登録員からの議題がこの辺りから入ってくるようになりました。それから1つのテーマに対して2回程度の会議を行うようになりました。平成27年度第1回目・第2回目開催が「地域コミュニティの再生～安全・安心して暮らせるまちづくり～」として、主に高年者の方たちが安全・安心で暮らしていけるまちづくりということで、皆様から意見を出していただき一覧表にまとめて市の政策などをつくる際の参考にしようようになったと思っております。第3回目・第4回目が「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」として開催しました。平成28年度第1回目・第2回目が「首都直下型地震時の高年者世帯の避難補助体制の構築」として開催し、どこにどんな人が住んでいるのかも分からない、個人情報保護の関係もあり支援が必要な方の情報も得られないので、町会の中で協力をして調査しながら名簿を作っていけばよいのではないかと、実際にそうした活動を行っている町会もあるということが話題になりました。できることから自分たちの足元のところで取り組んでいこうということになり、取り組まれている町会もあったように思います。第3回目・第4回目が「草加市の魅力と経済活性化」として開催し、資料3にもありますが、前回の会議ではレイクタウンができ、草加を通り過ぎるだけではなく、草加にもっと立ち寄ってもらいお金を落としてもらい、経済活性化を図れないかということのまとめになります。

今日の議題ですけれども「今後のまちづくり会議におけるテーマの選定」ということです。事務局にテーマを出してくださいということで、事前に事務局にテーマを出していただきました。事前に提出のあったテーマが資料1にある4つのテーマになり、先ほど登録員Aさんからお話のあったテーマと合わせ、事前にいただいたテーマは全部で5つのテーマとなります。どのように取り上げて進めていくかということ、前回と同じでは効率的ではないので、次回第3回目・第4回目また来年度と繋げていくために、どのテーマを取り上げ、どのように進めていくかを各グループで話し合ってくださいというのが本日のまちづくり会議の趣旨です。話し合っていく中で資料に出ていないテーマでも新たに提案したい場合は、各グループで話し合ってください、まちづくり会議の提案として話し合いたいテーマかどうかをグループで決めて出してくださいと思います。各グループの話し合いですが、約30分で話し合ってもらいたいと思います。その前にそれぞれのテーマ提案者からテーマについて話していただいて、その後に各グループで話し合ってくださいと思います。本日は事前提出者が1名欠席ですが、登録員Aさんを含め、今日いる提案者からテーマの内容趣旨のお話をしていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

【登録員A】

これまでのみんなでまちづくり会議は資料2にありますように、平成25年度からはじまり、今年で5年目になるということが分かりました。私が質問したいのは、これまでみんなでまちづくり会議を5年間も市民から色々な意見をまとめてこられ、そして5年間、市の行

	<p>政において、まちづくり会議を行う上で出た意見が、現実的に活かされて、このようにまちが良くなったというように、市が実行できたものにどのようなものがあるのかを、この5年間の成果というものを行政の方から教えていただければと思います。</p> <p>なぜかと言いますと、このみんなでまちづくり会議に私も今後ずっと出ようかどうか迷っているところで、5年間も会議を行ってきた中で、市民の意見が行政に生きてこないのであればあまり出る必要はないかと思っております。</p> <p>【進行役】 実はみんなでまちづくり会議は、5年間ではなく前段階に4年以上経過があります。私の理解では、みんなでまちづくり会議は非常に理念が高いのですが、よくある市に対する要望や要求をする場所ではなく、また会議の運用部分の交通整理がうまくできなくて苦勞されてきた時期がありました。その時期を経ての5年間がこのみんなでまちづくり会議の部分になります。前任の課長さんの時期から協力をさせていただいていますので、ここで話し合ったことを1つのデータベースにして、市が政策など考えるときに何か活用してもらおう方向性を考えていきたいと思いますというのでやってきたと私は理解しています。</p> <p>事例が整理されているのであれば教えていただければと思います。</p> <p>【事務局】 (山中課長) 資料2に載っているテーマにつきましては、話し合ったことについては各所管課に伝えてあります。ただし、政策の細かい所まで、このように活かしたということは現段階では整理はされておりませんので、きっちり活かされているということまでは言えませんが、事業を各所管課が行う際に、注意しなければならないことなど、みんなでまちづくり会議で話し合ったことは各所管課へ伝わっていますので活かされているのではないかと思います。</p> <p>また、平成17年度からみんなでまちづくり会議は行われていますので、提案型の中ではボール遊びができるようにと瀬崎まちづくり市民会議で提案された「蒲原公園」が造られたり、また「親水緑道」が造られたりと整備が繋がっているところはあります。具体的に細かいところが見えなくて大変申し訳ないのですが、ご理解いただければと思います。</p> <p>【進行役】 登録員Aさんいかがでしょうか。</p> <p>【登録員A】 はい、ご回答ありがとうございます。</p> <p>今まで、みんなでまちづくり会議で議論を積み重ねてきているので、皆様の意見を行政の立場で、このようなどころまでできているところを、次回またはその次の会議までで結構ですので、具体的に書面化していただけると私どもも助かりますし、次の会議の励みにもなると感じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>【事務局】 (山中課長) 少々お時間をいただく形になってしまいますが、整理して結びつくことがあれば、資料としてできるだけ皆様に分かりやすいように説明できるようにしていきたいと思っております。</p> <p>【登録員A】 ありがとうございます。</p> <p>【登録員B】 今まで、まちづくり会議をグループディスカッションという形でやってきまして、バラバ</p>
--	---

	<p>ラになった意見については公開しなくてもよろしいのですが、ある程度総意になったものについてはぜひ、時間がかかるとは思います、できるだけ把握して資料にまとめてもらえればと思います。</p>
【進行役】	<p>はい、ありがとうございます。それでは今までのものを資料としてまとめてもらえればよろしいでしょうか。</p> <p>他に進行などについてご意見等がありますでしょうか。</p> <p>よろしければ、議論の時間を大事にしていきたいと思いますので、いただいているテーマについて提案者から5分程度でテーマの提案趣旨の説明をしていただきたいと思います。そこで皆様に各テーマにおける共通理解を図っていただこうと思います。</p> <p>①のテーマ提案者は本日いらっしゃらないので、②のテーマ【共生社会とは何か（住民サイドから考える）住み慣れた地域で暮らし続けられる「ふるさとまちづくり」】を提案してください。登録員Cさんよろしくお願ひいたします。</p>
【登録員C】	<p>よろしくお願ひします。1年間、みんなの保健室「陽だまり」という団体で活動をしてきました代表の登録員Cと申します。昨年、草加市ふるさとまちづくり応援基金の「はじめよう部門」にトライしまして、1年間活動してきた中でのテーマとして出させていただきました。</p> <p>みんなの保健室「陽だまり」というのは、地域包括ケアシステムを住民サイドから考えていこうということで立ち上げた団体です。厚生労働省も地域包括ケアシステムそのものが、医療・介護・予防・住まい・生活支援を全体的、包括的に体制を支援すると言っていますが、あまりにも漠然としていることを感じております。私たちは、その保健室をやっている健康支援ということを打ち出して始めましたが、始めは健康に対する相談というものはほとんどなく、暮らしそのものの相談がありました。もし、水害にあってしまったらどうすればよいのか、また夫と仲良く暮らしていくにはどうしていけばよいのかなど、日常における悩みの相談が多くを占めていました。相談支援だけではなくイベントも組み合わせて、「若いも若きも楽しく暮らす」ことを目標に取り組んできました。厚生労働省では、昨年の年度末から縦割りから丸ごとへという共生社会づくりを打ち出しました。それまでは、私たちがどのように進めていくべきなのかということ住民サイドで考えていかなければならないと感じておりました。政策的には仕方ないことですが、政策の中で例えば認知症や高齢化対策などは別々であり縦割りになってしまいます。私たち住民は縦割りという考えはないのですが、1年間活動を進める中で行政だけでなく私たちの身近な生活にあるものが実は縦割りであったことに気がつきました。私どもの活動は、縦割りではなく、もう少しフラットに若いも若きも楽しく暮らしながら住み慣れたお互い様のまちづくりにトライしていけたらと思っています。皆様と一緒に考えていければ良いと思っています。</p>
【進行役】	<p>はい、ありがとうございました。縦割りから丸ごとへという地域づくりということですね。登録員Cさんが行っている活動がどのようなものかを登録員の皆様に周知するため、チラシ等ありましたら配布していただいてもよろしいでしょうか。</p>
【登録員C】	<p>はい、わかりました。</p>

<p>【進行役】</p>	<p>それでは、みんなの保健室「陽だまり」の補足資料が、後ほど配布されますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次に③のテーマ【各町会組織利用について】ということで、登録員Dさんよろしくお願いいたします。</p>
<p>【登録員D】</p>	<p>前回の「草加市の魅力と経済活性化」の話し合いの中で、草加市は人の流動性の激しいまちという特徴が短所に見られていますが、それは長所とも取れるのではないかという意見が出ました。町会組織というのは、地域の最少単位になっており草の根と言われる部分であって、住民の意見を吸い上げて、それが市や県に伝わる可能性が一番高いところでもあります。その町会組織の繋がりが薄い、新規入居者が入ってきたらその町会には入らないなどになっていくと、町会組織自体が崩れてしまうのではないかと思います。町会組織のメリットを皆様に出していただいて、世代交代でも入りやすいといったように、時代にあわせた地域作りをすれば、新しくきた人も町会に入りやすかったり、仲良くなったり、それに子育て支援もできること、どこにどんな子どもたちが住んでいるのかなども把握することができ、地域の子どもたちを守ることができると思いました。また、もう少し自分たちの地域に愛着を持つことができれば、治安という部分でも、ある程度、注意とかの声かけもできるようになり、新しく入った入居者とも顔を合わせて会話ができ、挨拶もできると思えます。良い点は残し悪い点をどのように改善していったら良いのかを考えていければと思って提案をさせていただきました。以上です。</p>
<p>【進行役】</p>	<p>はい、ありがとうございました。今までの会議の中でも町会というのはお題になっていたことがあるのですが、更にそれを活性化させていくには、特に新しく入ってきた方が入りやすい地域にしていくにはどうしたらよいかという議論の提案でした。</p> <p>それでは次に④のテーマ【駅を核にした特色あるまちづくりを進めるには】ということで登録員Bさんよろしくお願いいたします。</p>
<p>【登録員B】</p>	<p>登録員Bです。「駅を核にした特色あるまちづくりを進めるには」と提案しましたが、核は駅だけではありませんが、一番わかりやすい表現かと思ひまして駅を核としています。草加市に限った話ではありませんが、駅前開発となると駅前にロータリーを造って、駅前に造られるのは銀行・大型商業施設となり、1つ道を隔てたあたりにマンションが並んでいて、どこを切っても同じ金太郎飴のようなまちなので、草加市をもう少し文化のにおいのするまちづくりをしてもらいたいというのが私のコンセプトでございます。草加市には図書館があり、その他にも記念体育館がありますが、博物館や美術館のようなもの、それが難しいようであればアトリエやライブハウスなどがまちに多くあるとよいと思っております。細かい話ですが、登録員Eさんのシュガーヒルしかプロが良い音を聞かせてくれる場所は草加にはないと感じています。もう少し店舗を貸す側も土地を持っているオーナー側もある程度、文化的な色を感じることができるまちづくりを考えて計画していただければと思います。流動人口を考える上で1番早いのが大学や専門学校だと思います。現在、キャンパスがない学校も多くありますし、造ろうと思えばキャンパスを造ることができると思います。私が市長なら総合福祉大学を造りたいと思っています。昼間と夜の人口差をもう少し減らしていかない</p>

	<p>と、金曜の夜から日曜の夜までしか活気が無いまちになってしまうと思い、皆様で考えていただければと思います。</p> <p><b>【進行役】</b></p> <p>はい、ありがとうございました。まちづくりに関しては大変大きな構想になるのかと思います。</p> <p>それでは続きまして、登録員Aさんよろしくお願いいたします。</p> <p><b>【登録員A】</b></p> <p>草加パドラーズの登録員Aと申します。よろしくお願いいたします。私がぜひ皆様に話し合っただきたいテーマは、こちらに書いてありますように「水辺を生かしたまちづくり」です。その理由は配布した資料に6項目書いてあります。</p> <p>1つ目が市民にとって最も自慢できる自然文化や歴史文化であります。私たちは、この綾瀬川をもっと活かしたまちづくりに取り組んでいくことが重要であると考えています。</p> <p>2つ目が水質汚濁全国ワーストワン連続15年間だった綾瀬川を再生し、市民に親しまれる清流を取り戻し、安全な水辺を構築していく必要があります。昨年、3歳の男の子と草刈作業中に転落した男性の2件の死亡事件がありました。危険な水辺ではなくて、安全な水辺を皆さんで考えていくということになります。</p> <p>3つ目は、私たちは現在19名の会員で活動を行い、不法投棄浮遊ゴミ回収を毎週水・土・日の午前中に実施し、3年目を迎えております。今後は浮遊ゴミだけでなく、水質汚濁の改善に向けて、国土交通省や草加市役所、県と連携をとりながら清流を取り戻せたらと考えております。</p> <p>4つ目は、観光和船、カヌー教室、SUP（スタンドアンドパドル）教室など定期的を実施して、市民に親しまれる河川を目指し活動を広げていくことが大切です。水辺に親しむ活動によって、ふるさとの綾瀬川に愛着が生まれます。市民や子どもたちの郷土愛にも繋がります。</p> <p>5つ目は、草加松原でお休み処、左岸広場船着場付近などに軽食やお茶が飲める建物、センスの良いクラブハウスなどを建て、気軽に立ち寄れる施設を造り、草加煎餅とコラボさせ食文化を発信できる施設を造り、NPO等に運営を委託するなどの計画を皆様で出しましょう。</p> <p>6つ目は、草加宿と草加松原、綾瀬川までの回遊性、綾瀬川から神明排水機場を経て獨協大学までの伝右川の活用などを考えた魅力あるまちづくりを構築していくことにより、歴史と文化を大事にした観光都市を目指すことができるのではないのでしょうか。魅力ある都市には若者が集い、人口増となり草加市の益々の発展が期待できます。</p> <p>まちづくり会議で皆さんと夢を語り合いながら、近い将来それらを実現することができたらと思って、提案をさせていただきました。以上となります。</p> <p><b>【進行役】</b></p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>水辺を生かしたまちづくりとして、綾瀬川・伝右川のような河川をもっと活用するといったゾーンのことも視野に入れているということでしょうか。</p> <p>提案者が1つのテーブルに2名偏ってしまっているので、差し支えなければ登録員Aさんに席を移っていただいてもよろしいでしょうか。</p>
--	--

<p>【登録員A】</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p style="text-align: center;">《座席移動》</p>
<p>【進行役】</p>	<p>今回は、提案者の意見を中心に議論していくことが前提ではありませんので、グループの他の登録員の方の意見も聞きながら、提案をこの会議として、どういった順番でどのように取り入れていけば良いのかなど、議論をしていただければと思います。</p> <p>資料の「みんなでまちづくり会議の運用」を見ていただいて、みんなでまちづくり会議の3つの機能に「市民同士の話し合い」「市からの発信・情報共有」「提案について考える」とあります。この中の「市民同士の話し合い」がこの会議の中心になります。「提案できるまちづくり計画の要件」ですが、これに該当しなければできないのかというところが疑問になります。対等の立場、パートナーシップによるまちづくりの7つの原則に基づくもの、共通して取り組む目的、市の基本構想及び各分野の基本的な計画に反しないもの、こちらに関しては問題ないと言えます。この会議として大事なのは役割分担、提案者と市の役割分担が設定されているもの、要するに、これは良いことと考えるから市にお願いするというところだけでは、この会議としては進まないと思います。市民はこういったことができる、市民ではこういったことができない、1つはお金の問題、あるいは、市がもつべき役割というものが出てくるかと思っています。併せて自分は何ができるのか、役割を担えるのかということ、提案の中で考えて話し合っただければと思います。これから30分ほど各グループでいくつかの提案について、このような方向性をもって議論を行って、次回以降もこうした形にしていきたいと思いますがいかがでしょうか。いつものように模造紙と付箋、ペンを各テーブルに用意してあります。どんどん意見を書いてください。進行役と発表者を決めていただいて、最後に発表して全体でまとめられればと思います。</p>
<p>【登録員F】</p>	<p>この会議はテーマを1つに絞らなければならないのでしょうか。それとも今出ているテーマに対して賛同するテーマにしか議論することができないのでしょうか。率直にそれぞれの団体を背負ってきているので、どうしても自分たちの活動に波及したものは非常に関心がありますが、関連の薄いものは関心が湧かなくなってしまいます。この会議は、そういった団体間の繋がりが目的なのか、それともやはり関心のあるテーマについて話し合う場であるのかを確認したいと思います。</p>
<p>【進行役】</p>	<p>特にはっきりとしたルールはありません。どうすれば市民同士の話し合いを通して、よりよいまちづくりができてくるのかを前提としてあります。1つのテーマに絞るか絞らないか、今まではテーマを決めて、その1つのテーマに対していくつかのグループに分かれ議論するといった形をとってきました。ただし、そのようなスタイルでなければならないと私も思っていません。今回、各グループで話し合ったことも含めて次回、例えばこの中のいくつかのテーマを並列して取り上げるやり方もありますし、あるいは並列的に取り上げながらグループごとにテーマを考えるといったやり方もあるので、そのような提案も併せていただければよいのではないかと思います。他にありませんでしょうか。</p>

【登録員F】	自由に提案できるということであれば大丈夫です。
【進行役】	<p>テーマを絞ることが目的ではなく、議論をしていただくことが目的です。ただし、これまでの経過でいくと、1つにまとめてきているので、そのように捉えてしまっているのかと思います。</p> <p>それでは、まず司会役と記録役を各グループで決めていただいて、議論を進めていただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">《グループでの意見交換》</p>
【進行役】	<p>30分が経ちました。まだ議論が行われているようですが、グループごとの発表に移らせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>本日はA、B、Cと3つのグループで議論しましたが、どのような議論をしたのか発表をしていただいてもよろしいでしょうか。それでは、Aグループからお願いいたします。</p>
【登録員G】	<p>Aグループでございます。4人で話し合いをいたしました。</p> <p>グループの意見をまとめますと、「まちづくり・ひとづくり」になりました。それから「高齢者・介護の問題」です。この2つをテーマとして提案させていただきたいと思います。内容は多岐にわたっていますので、まとめるとこのようになりました。</p>
【進行役】	<p>どのような議論を経て、そう至ったのかを皆様が分かるように説明していただいてもよろしいでしょうか。</p>
【登録員F】	<p>皆様の提案テーマを話し合いましたところ、共通してくる部分がやはりこの2つの事柄になり、皆様の団体とも重なる部分にもなります。</p> <p>まちづくりと言いましても、川辺を活かしたまちづくり、環境問題やゴミ問題を取り入れたまちづくり。現在、獨協大学沿いの伝右川の清掃活動やカヌー教室など1カ所拠点を置いて重点的に行い、随時計画を立てて伝右川以外の草加市の河川についても同じことをしていく。伝右川も緑を植えていこうという動きがありますので、具体的に提案できれば良いと思っています。福祉は登録員Cさんの提案のように、地域福祉のまちづくりをして、高年者になっても安心・安全に暮らし、人生の最後を迎えられるといったような地域づくりができると思います。</p>
【進行役】	<p>はい、ありがとうございました。他に補足等ありましたらよろしく願いいたします。</p> <p>(特になし)</p> <p>よろしいでしょうか、それでは次にBグループの発表をお願いいたします。</p>
【登録員B】	<p>私たちBグループは、住みやすいまちとは何かということで、住みやすいまちのイメージについて皆様で意見を出し合いました。</p> <p>このイメージがたくさん出ると良いのではないかと思います。共生社会は住みやすいまちであること。簡単に挨拶ができるまち、核家族が増えていることや世帯構成の変化でご近</p>

所付き合いの関係性が難しくなっているので関係性を作ること。しかし、あまり自由になりすぎると、かえって面倒な部分もでてきてしまうので、仲間がいて気軽にご近所付き合いができるということが住みやすいまちのイメージではないのでしょうか。それでは、住みやすいまちを邪魔しているものは何かを考えた時、個人情報と関係づくりが邪魔になってきます。個人情報を固めすぎると、適切な情報まで得ることができなくなってしまいます。これは情報不足にも当てはまることで、障がい者の人数や状況を把握することができないのです。障がい者についての情報は私たちもあまり持っていないので課題であると思っています。町会に新しい方が入るためにはどうしたらよいかということで、社協や町会と情報交換をしながら一緒に動くことができたらよいということと、高齢者だからといって高齢者のみで集まり歌を歌うというのではなく、先ほどあった話の様に、文化や歴史などといったことにも触れていければ良いのではないかと思います。世代間のコミュニケーションは大事です。凧揚げやカルタなど高齢者が活躍していて力のある方はたくさんいます。しかし、発掘と活用ができていないと思いました。また、活動を続けていくにはビジョンが大切であり、人・物・お金が必要になります。あとは拠点となる事務所のようなものが必要になってくると思います。誰でも飛び込んでくることのできる拠点づくりが大事だと思います。

【進行役】

よろしいでしょうか。それではCグループお願いいたします。

【登録員D】

私たちのグループはテーマを出した方が2人もいらしたので、これ以上出したら混乱を招いてしまうのかもしれないと思い、1つ1つ出されたテーマについて話し合うことになりました。まちづくり会議のテーマの話し方については進行役が話したように、テーマを絞らずに皆で話し合い、そこからみんなの意見をまず出してから、その次に掘り下げて話をするということで1つのテーマに絞らなくても良いのではないかという話がでました。また年4回の会議開催にこだわらず5回目も作り、5回目に報告をするとか、今年度どんな話をして結果をどこに提出したかなど、その後の経過などの報告や反省もあれば、もう少し皆様も会議に参加しやすくなるのではないのでしょうか。それぞれの所属している団体の活動を踏まえてのまちづくりについてということで、団体のカラーを活かして話し合うことも良いのではないかと思います。まちづくり会議の運営についての話し合いについての意見もでました。それから、①と④のテーマのところ、草加のまちづくりで、みんながどの方向を向いているのかということで、焦点を当てる部分が川なのか松並木なのか、草加のデザインなのかをある程度絞って決めておかないと前回同様スケールが大きくなってしまふのかもしれないと思いました。あとは草加の細かい部分になりますが、コインパーキングが少ない問題やバスの交通面が悪い問題、水害・防犯の面、川を綺麗にするに当たってのゴミ掃除は良いのですが、ゴミを捨てないようにする防犯カメラの設置、綾瀬川・伝右川を活かしたまちづくり、美術館・博物館が無いことが意見として出ました。草加のデザインということで結局どういった草加にしたいのかということと漠然としすぎています。

次に②番目のテーマの「共生社会」ですが保健室の情報を伝えるときに、健康の内容ではなかったと言っていました情報を活かして、どのようなニーズが必要で、どのような価値観を持っているのか、それに対してどういった利益を生むことができるのかなど、どのような共生社会を目指すかということで、どこに目的を置くのかということ掘り下げてみんなで話していくことができれば良いと思いました。各町会の運営は永遠のテーマという話がで

	<p>ていまして、新住民と旧住民では、どちらを変えるかという話になった時にやはり旧住民側であると思います。受け入れ側が態勢を整えることにより新住民の人ともうまくできるのではないかという点でそこを話し合っていくのにも、テーマとしては良いのではないかと思います。私たちは、このようにテーマの中のテーマという形で話し合いはまとまりました。以上です。</p>
<p>【進行役】</p>	<p>はい、ありがとうございます。今までの議論のやり方とは少し変更して、出ているテーマを個別に議論をしていただきました。テーマを絞り込むにはやはり難しいと感じるのと、1つの方法として、住みよいまちをつくっていくにはどうすれば良いかという原点に戻ったと思っております。</p> <p>次回に繋げていくにはどうしたら良いか皆様からご意見等あればいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>自分たちとは違うグループの報告を聞いて、何かお考えがありましたらお願いします。</p>
<p>【登録員A】</p>	<p>すべてのグループの報告を聞いて、これでは次回の会議で何を話すのかと混乱が起きてしまいます。そうなるのではなく5人が提案したものだから、共通項目と異質項目はどこなのかを考える必要があります。私が今回のテーマを見た時に、①、④と私が提案したテーマは「まちづくり・ひとづくり」という形で1つに括れると思います。2つ目は高齢者問題、介護の問題、町会の問題とひとづくりで括れます。5人が提案してくれたものを本当は皆様でまとめなければいけません。大きく分けて考えると、私たちAグループの結論の様になります。提案してくれた5人の意見を活かして、水辺を活かしたまちづくりをしようということだけではなく、町会のことも、ひとづくりのことも、すべてを含めてこのまちをどうしていくかということを検討していかなければならないと思いました。5人が出してくれたテーマを今後も活かしながらやっていきましょう。そして、これが尻切れとんぼのようになってしまふのであれば、来年度も引き続き皆様で良い意見を出し合って、そして役所に提案をして少しずつやっていけるようにし、私たち市民も力を合わせてやっていかなければならないと感じました。</p>
<p>【進行役】</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは他の方はいかがでしょうか。</p>
<p>【登録員F】</p>	<p>福祉も地域福祉も結局のところひとづくりです。要するに高齢者だけでやっているの難しいのです。例をあげて申し訳ありませんが松原団地の高齢化率は60%くらいでして、孤独死も出ています。それは10年後20年後の草加市の姿でもあると思っています。だからといって福祉だけを追いかけるのは良いわけではなく、ハード面のまちづくりも必要になってきます。そしてビジョンを持って計画的にまちづくりをしていかなければならないと思っています。あとは、かなり大きなテーマになっていますので絞り込んでいく必要があると思います。サブテーマが10個ほどあるとは思いますが、1つは絶対にやりましょう。登録員Aさんの水辺を生かしたまちづくり、それについて掘り下げて議論をするときに、底まで議論をしていかなければ開発的なものは難しいと思います。あとは、今後、議論をするときに、事務局から基礎データを示していただきたいと思います。それがないと普段関心のないもの</p>

	<p>については、議論した際に噛み合わなくなってしまう。基礎データのようなものは用意して進め、ある程度の情報を共有して進めていくことができれば良いと思いました。</p> <p>提案するなら、例えば市民レベルでこういったこともやりますよというのを必ず付け加え、体制やお金の問題など支える母体を用意しておかないと可能性は限りなくゼロになってしまいます。ボランティアが30%やるので行政が70%やってほしいなど、そのような提案書が出てくれば良いと思いました。以上です。</p>
【登録員C】	<p>私が思ったのが、高齢者・介護者問題とは何でしょうか。それなら子育て支援という問題もあります。そういった考え方ではなく、安全・安心に共に暮らすにはどうしたらよいのかということです。高齢者・介護問題で括るのは、どうなのかと思いました。</p>
【登録員D】	<p>私は、まちづくり会議に何回か参加させていただいたのですが、水辺の話に関しては、前回私が出させていただいた「草加市の魅力と経済活性化」という議論のまちづくりのリノベーションという中で出てきていました</p> <p>また、高齢者と介護問題も前々回の公共的施設のところで、今後どういった公共施設を建てたら良いかということで、地域のお医者さんと連携をすることや、子育ての場所や高齢者の場所などに限らず多世代の方が使える公共施設を造った方が良いのではないかという意見がありました。地域のコミュニティを利用した多世代の活用という部分で少し重なっている部分があります。まちづくりという部分でも前回は第3回・第4回と通常は2回で終わらせるものにかなり時間を使って進めた中で、リノベーションの話では市の職員より経済の話をしていただきました。前回提案者からすると、もう一度その話に戻ってしまってよいのかと思うのと、前回は結構壮大な話になってしまったのと、また予算が結構かかってしまうので、市の予算的な部分で現実問題どうなのかと考えてしまいます。リノベーションはリノベーションで動いているので、皆様がもう少し前回までのみんなでもまちづくり会議の内容を踏まえた上で、話し合いをしてみたいかでしょうか。</p>
【登録員B】	<p>私は、Aグループの報告に沿って物事を進めていきたいと思います。1つ1つ議題に沿って話し合いをしましたが、必ずすべての話し合いの中で他のテーマともリンクしてくる部分ができます。色々細かい事は出てくるかもしれませんが詰めていくうちに、まちづくり・ひとづくり、高齢者問題・介護問題とリンクしてくる部分ができます。住みやすいまちとは何か、草加市に長く住んではいるが、みんなが幸せに過ごせるまちはどのような言葉で表せばよいのか分からないのです。大きなテーマを1年で終わらせることではないので、2年ぐらいかけて結論を出しても構わないのではないかと思います。</p>
【進行役】	<p>結果的に、大きなテーマがでてきたと思っています。しかし、中身はかなり具体的な要素を含んでいると思います。さらに、実際にそれらの活動を行っている方が提案してやっている感じを受けました。まちづくりという点で登録員Aさんの水辺を生かしたまちづくりということに繋がってきますし、ひとづくりの点では登録員Cさんのみんなの保健室の活動に繋がっているので、それぞれ具体的な要素があるのかと思います。これは提案ですけれども、次回はこの「まちづくり・ひとづくり」について話し合ってもよいでしょうか。ただし、このまま漠然と議論するのではなくて、もう少し具体化させたいと思います。今回提案をしてい</p>

	<p>ただいた登録員とも議論をしてテーマを具体的に絞ることを一度事務局で打合せの場として作っていただいて、具体的な方向性を示して第3回・第4回のみんなでまちづくり会議の運営の進行にあたっていきたいと思いますがいかがでしょうか。もう1度、今日提案していただいた方にも協力をいただき、話すべきテーマの絞り込みをしましょう。ただし、1つのことを話し合うのではなくて、今回の様に並列的に話し合うことも含め、話し合う議題を整理していく、それが次回の資料にもなってきます。いかがでしょうか。</p>
<p>【登録員一同】</p>	<p>《拍手》</p>
<p>【事務局】 (山中課長) 【進行役】</p>	<p>テーマの提案者にもう1度集まっていただくということでしょうか。</p> <p>はい、そうなります。</p> <p>傍聴者の方にとって、初めての会議でしたが、次回はこの会議の中に入れていただくのが進行役の希望になります。進行は以上になります。ありがとうございました。</p>
<p>【登録員一同】</p>	<p>《拍手》</p>
<p>【事務局】 (亀山所長)</p>	<p>本日の議事はこれで終了します。本日進行役を務めていただいた青柳様ありがとうございました。また、会議に参加し、真剣に議論をしていただいた皆様ありがとうございました。次回の会議につきましては、10月25日、この会場で開催いたします。進行役につきましては、引き続き青柳様、本日は欠席ですが、浅古様にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p>
<p>【登録員一同】</p>	<p>《拍手》</p> <p>ありがとうございます。次回のテーマにつきましては「まちづくり・ひとづくり」について話し合っていきたいと思います。次回の会議の前に今回テーマを出してくださった登録員の皆様と事務局で打合せを行っていきたいと思います。それではこれもちまして平成29年度第2回みんなでまちづくり会議を終了いたします。皆様ありがとうございました。</p>
<p>【登録員一同】</p>	<p>《拍手》</p>

議事録署名人 蓮沼 清光

議事録署名人 酒井 斉